

KSKS

かがやき



ひかり福祉会広報vol.88 2013 霜月号



志ようさん人第3回全国大会 in 東北・あくしほ

「つらね・つねぞ・あきらめ」をテーマに開催された大会には、全国から2,400人（ひかり福祉会からは1名）が参加しました。生かすこと、働くことの喜びを確かめ合った感動的な大会となりました。そして修学への道がまたまた広がるといふ嬉しい現実も感じ、伝えることの大切さを感じました。



◆ 編集部 ◆

〒100-0001 東京都港区赤坂1-15-1
ひかり福祉会 法人事務センター
TEL:03-64-5773
URL: <http://www.kikari-welfare.net/>

◆ 発行人 ◆

社会福祉法人
ひかり福祉会 理事長

特集

アクトイビティ会議

「障害の重い人たちへの支援を考える」

この会議は生活介護事業所の
の重い障害のある人たちへの
豊かな日本語を支援するた
めに、びわこ学園心理室後
石井新紀子先生に専門的な意
見とアドバイスを頂き、取り組
みを進めています。参加者はサ
ービス管理責任者、支援者など
で、実際に事業所を訪問し、利
用者の様子を見学した後、個別
支援計画に沿ってケーススタディ
をしています。

日本の支援にすぐに対応す
る障がい者、車心の障がい者サ
イドからの事例や、経験談を先生か
ら聞くことができ、豊かな意見
のある女性の考え方が学べま
す。また法人内事業所の実践を
見学し、一緒に検証していくこ
とで、いつとも違う新たな視点
を意見することができ、支援する
側の視野も広がります。この実
践を皆さんに広く知えるため
レポートとして、法人研究会会
に出す準備も進めています。

ひかり園の実践から

「アクトイビティ会議で」

アドバイスを受けて！



ひかり園・解羽里では、自費
等の作業を行う部屋を「やさしい
部屋」、ボカシ等の作業を行う
部屋を「ボカシ部屋」、その他
の作業室または休憩・リラク等
を行う部屋を「ゆったり部屋」
として、活動スペースを分けて
支援を行っています。これによ
り、今まで日中活動に風通しを

持てなかった利用者に対し、職
役や場面に応じた活動ごし方を
提供することができるようにな
りました。

この取り組みの中で、マンツ
ーマン対応を必要とする数多
の利用者の過ごし方が、改めて
高層となりました。とりわけ、
発達行動障害を抱える男性（以
下、Kさん）に対しては、場所
されてから今日までの十九年
間、様々な対応が検討され続け
てきました。近年、家庭環境
の変化に伴って調子を崩され
ることが多くなり、新たな対応
が求められています。

現在、Kさんの過ごし方で特
に問題となっている、夜食と屋
外での排便・家庭における関
わりについて、アクトイビティ
会議で石井先生に相談し、以下
のアドバイスを頂きました。

「夜食・排便・外出とも、それ
らをまとめたある種の行動パタ
ーンがあり、本人はそれに従っ
て行動している可能性がある。
一問一答、Aで水を飲む、Bで
排便し、Cを通過してAへ向か

り、等々。もしそうであるなら
ば、それらの順列が強くなる前
に別の行動へ誘導し、それら
の方で行動パターンが定まると、
本人も調子はよくなるのでは
ないか」

会議の後、Kさんが調子を崩
されている事の多い、朝の起床
時から利用者が退出時間（九時
三十分）までの約一時間、見守
り支援を行うこととなりました。
マンツーマン対応を原則とし、
少し離れた所より見守りなが
ら、要所要所で声かけと誘導を
行っています。観察と実践の繰
り返しの中で、職員一人一人が
Kさんの行動に関わりつつ、K
さんの行動に思いを馳せる
日々が続いています。

夜食・家庭では、夜食（朝食）
を取り入れることにより、Kさ
んの行動パターンが少し変わ
り、夜間排便は減少傾向にある
とのこと。安定できた日は
作業所でも調子がよくなりま
す。安定した家庭生活が、薄っ
着いた日中活動につながるつて
いるのかも知れません。

重い障害がある人たちの支援の実践

ひびく学芸部副部長 佐藤サチ子

若林 紀子

今年度からアタタイびびく会議の取り組みとして、事例検討に参加させていただくことになりました。まだスタートしたばかりですが、私自身の経験も含め重い障害がある人たちの支援についていろいろと共有していききたいことを書かせていただきます。

重い障害があり自己表現、自己決定が困難な人たち

1 行動障害者も含めて

私の職場である道徳実習施設の利用者の多くは、身体障害知的障害者ともに重度で、加えて医療行為が高い方々もおられます。どうしても障害が重くても本人の持つておられる力を大切にし、「自分らしい暮らしをしていってほしい」、これが

支援者の願いであり、支援の目標です。しかし、障害が重い利用者の扱いには、本人がどんな力を持つておられるかが、それをとらえること自体が難しく、さらには自己表現も困難であり本人自身の願いや思いを知ることも容易ではありません。一方、行動障害を呈する

かたの場合はどうでしょう。一概、自分の思いによって行動できる、手段は問いでありません。一方、行動障害を呈するかたの場合はどうでしょう。一概、自分の思いによって行動できる、手段は問いではありません。しかし、彼らの多くは知的障害や自閉症などと重なっている障害者から、自分の要求や思いをうまく伝えられない、時間的なみと抑しを覚えることが苦手な方々もいます。いろいろな不安やしんどさから「かわいさ」と言われる行動に自分もがんにがらぬになつてしまふ、時にはパニックや他者あるいは自分自身をも傷つけるような行為に及つてしまふ、彼らに対する行動上の問題は、実は自己表現の困難さや、自分で行動を組み立てることの困難さの現れととらえることができます。

どう支援したらよいか、それは本人を深く理解することからみえてくる。

それでは、彼らが行っている力をとらえ、思いをくみ取るという難しい支援課題にどのような取り組めばよいのでしょうか。行動障害が深刻であればあるほど、その「原因」を探ることが難しく、原因となる行動への直線的な対応を迫られることになり、本人も支援者も追い込まれていきます。しかし、困難な支援課題に立ち向かわなければならぬ時こそ、支援の高みに立ち戻つてくださいます。まずは本人理解なのです。先にも述べたように「障害」に固執して本人の持つている特性を理解すること、その上で本人の視点にたつて、今本人が置かれている物理的環境やコミュニケーションセッション環境、関係をとらえ直してみる。そうすると、本人の思いの理由「何がしんどい」が見えてきます。このように本人をより深く理解し支援するた

めには、職員の間接的な力や、チーム力が求められます。また、障害が重い方の場合には日中活動場面のみにてなく、生活も含め評価し支援を組み立てていくことがより重要で、そのためには「家族と本人理解を共有すること」も大きな課題です。

概かに行動障害の支援は大変です。でもこの上りな実践を丁寧に積み重ねると本人の理解が深まること、支援者と本人との関係も深まり、支援の手ごたえをも強ねることが出来るはず。そして、支援が大きな事例ほど、その方からたくさんのごことを学ぶことができ、支援者の力アップの力を高めていくことが出来るはずです。

アタタイびびく会議の取り組みがそろそろいったことにつながつていくように、皆さんと学びを深めていきたいと思っております。



輝く**★ 一人ひとりの命が輝く! ★**

【社会の主人公として、主体的な自己実現と、社会参加をすすめる】
【発達保障論に基づく、専門的支援をすすめる】

- ① アクティビティ（生活介護）事業において、やりがいと生きがいを持って活動ができるように、実践を進める。
- ② 実践を次の取り組みに生かしていく事ができるように積み上げていく。

**耕す****★ 運動により、命を耕す ★**

- ① 市・町に対して、障害のある人の権利を守る視点での要望活動を進める。
- ② きょうさんん賛助会・ひかり福祉会後援会・国会議員署名・募金を広げることにより、障害者理解の輪を広げる。

**太る****★ 共に働くなかで、命が太る! ★**

【福祉的就労の場から労働者としての働く権利を保障する】
【低工資から脱却する・・・収入が安定すれば暮らしが好転する】
【社会の中（企業など）で働く力をたくわえる】
【ディーセントワーク（働きがいがある・人間らしい仕事）の実現をめざす】

- ① 長年の「訓練」（就労施設・B型事業等）から「労働者として働くステージ」に！
- ② 「就労移行」「障害者就労センター」「アクティビティセンター」の機能を明確にして、働く場の整備を進める。
- ③ 働き・暮らし応援センター（コト支援センター）の地域における就労支援の要としての役割をさらに発揮し、労働・雇用のワンストップセンターとしての役割を果たす。

ひかり福祉会 第5次将来計画

2013年～2017年
一歩動きやすく暮らしやすい
湖北・湖東地域を目指して
私たちは取り組みを進めます

★ 豊かな暮らしで、命が育つ! ★

【安心して暮らすことのできる地域生活をつくる】
【高齢になっても安心して暮らせる地域環境を整える】
【暮らしたい人と暮らしたいところで健康で文化的な生活を送れる環境を整える】

- ① グループホーム・ケアホームを豊かな生活の場にする。
- ② 地域（生まれ育った自宅等）での生活をすすめていくために、ひかり福祉会総合生活センター機能を本格的に起動する。

育つ**養でる****★ 地域とのつながりは、命が養う! ★**

- ① 人口の15%を超える割合の人たちが、何らかの働きづらさ、生きづらさを感じている地域社会で、必要とされる福祉会・事業所となる。
- ② 就労支援の事業を通して、地域の役に立てるようにする。
- ③ ひかり福祉会のすべての関係者が、「好きになり」「自信を持って語る」ことのできる！ひかり福祉会になる。

守る**★ 事業の継続が、命を守る! ★**

- ① ひかり福祉会を地域で売り出す。（情報発信）
- ② ひかり福祉会40周年（2016年6月）記念事業
- ③ 財政は、事業の油



住みなれた湖東地域で
「働きたい!」「暮らしたい!」
そんな願いを実現するために
お手伝いをします。



障害のある人の「働きたい」と「暮らしたい」を一体的にサポートする機関として、平成十八年に滋賀県福祉の制度として「働き・暮らし応援センター」が創設されました。かがり福祉会は、滋賀県の制度ができた二十一年前から、「障害者の雇用の促進等に関する法律」による「障害者就業・生活支援センター」の設置や厚生労働省からの委託を受けていとし、以来、九年前、湖東地域の障害のある人の就業支援の拠点としての役割を果たしてきています。

働き・暮らし応援センターでは、障害のある人の就業ニーズと企業の雇用ニーズを結びつける取組を主な活動として、湖東

部の企業、勤務先者のための支援、就業に關わっての法律サポートなど地域の問題を関係者と共に進めてきています。

五〇〇名を超える人の 願いに応えるために

平成二五年九月現在、五六六名の登録者がかりセンターの相談や支援などを活用していただいています。知的障害、精神障害の手段を所持の方がそれぞれ二〇〇名、身体障害の方が一〇〇名、その他に、障害者手帳はお持ちでないものの、発達障害や高次脳機能障害（事故や病気などにより脳に

障害がある方）、難病などにより、働くことや生活することに不安や課題のお持ちの方が相談に応えられています。年輪も、高校や大学等に在学中の方が六十〇名を突破する一方で、毎年を同じくおられる方や働いていられる方に、悩みや不安を抱えているために相談をしている方まで、仕事のことだけにとどまらない相談を受け付けています。

専門職員が 相談に応じています

就労相談員としての「雇用支援ワーカー」、生活支援担当の「生活支援ワーカー」、企業からの相談や障害者雇用の促進、労務面での仕事のことについての相談担当の「就業サポート・コーディネーター」(職場適応援助者)が、障害のある人(ご自身やその家族)と接している。雇用したいと考えている企業様からの相談に応じて、ハローワークや行政機関、障害者就業センター

などの専門機関、福祉施設、学校や民間団体などを協力・連携しながらの取組(ネットワーク)しています。

地元企業で働きがいを持って働いています

今年から障害者雇用率は定率になりました。多くの障害のある人たちが、湖東地域はじめる滋賀県内の地元企業で、「働きがい」があるところになることがうれしい!「働められること」で今年がいかがなっています。こういった働きがいをもって自分を磨くとしています。みなさんも、かがいっばい働いてみませんか!

働き・暮らしサポート支援センター
滋賀県内湖東部 49-16
J 湖東地域西口・ハローワーク湖東
電話0749 (21) 2245
FAX0749 (21) 2246

障害者雇用支援
総合ポータルサイト
ATARIMAX PROJECT
http://www.atarimax.jp

ひかり福祉会及び各事業所へのご寄附(寄附金・物品等)ありがとうございました。
 (2013年7月1日～2013年10月31日 敬称略・工字省略掲載)

| | | | |
|---------------------|-------------|--------|---------------|
| 岡成建設機 | 河津字区社会福祉協議会 | 関西ホーム | 北郷恵民生・配管委村協議会 |
| 共栄ハウジング | 甲府看護学校 | 経営風光大学 | 滋賀大学 SIFE |
| | 滋賀民衆社 | | |
| 第29回ひかり園・横山まつり実行委員会 | トップワン豊商店 | 長興合同青果 | |
| 長浜高等養護学校 | 長浜職業高等学校 | 藤の園工房 | フタバヤ近江店 |
| | 宮崎商店 | | |
| 飯沼 聖子 | 飯田 佳子 | 伊吹 氏代 | 今村 金吾 |
| 岡島 晃江 | 奥田 久子 | 奥村 明寛 | 尾崎 翔子 |
| 川島 美志子 | 川瀬 敏彦 | 川瀬 正子 | 河端 忠 |
| 小島 裕一 | 津 和彦 | 西嶋 聡子 | 菊田 政博 |
| 下野 修二 | 下村 長史 | 武部 忠夫 | 田中 さざ美 |
| 田中 博 | 谷澤 伸敏 | 谷田 みささ | 田原 弘 |
| 長谷 政弘 | 中島 知子 | 中村 安夫 | 成田 達夫 |
| 橋場 武 | 尾月 富治 | 庄田 弘 | 樋口 高年 |
| 藤野 智敏 | 藤本 三郎 | 古川 敏 | 古澤 千佳子 |
| 堀田 博道 | 牧村 隆 | 松田 直也 | 松宮 秀治 |
| 村西 壽一 | 山崎 理子 | 山本 司 | 方石 行 |
| | | | 坂崎 悦子 |
| | | | 木村 剛 |
| | | | 菊田 美和子 |
| | | | 田中 長和 |
| | | | 辻 卓爾 |
| | | | 辻 俊彦 |
| | | | 西浦 正和 |
| | | | 長谷川 次男 |
| | | | 樋戸 達介 |
| | | | 藤井 あゆみ |
| | | | 保積 直香 |
| | | | 宮川 裕香 |
| | | | 匿名 |

2013年11月15日発行(8) 第3種郵便物承認 通巻第448号 K S K S かがやき vol. 88

社会福祉法人 ひかり福祉会

就労移行支援・就労継続支援B型・生活介護

(湖北区域) ひかり園、舞遊里、ひので作業所
友愛ハウス、ワークセンター 絆

(湖東区域) たんぽぽ作業所、セルフひこね
HEART WORK 館、工房ふれっしゅ
喜寿堂

ケアホーム&グループホーム

(湖北区域) びわどんどん、長浜かざぐるま
長浜里の家、米田家の家

(湖東区域) ひこねたんぽぽ、ひこね芹川
ひこねわたぼうし、ひこねひまわり
ひこね七里

日中一時支援・加齢入所

ひかり園、ひので作業所、ショートステイとまと

相談支援・計画相談・就労支援

障害者支援センターそら
働き・暮らしサポート支援センター

～編集後記～

先日さようざれん湖東支所の県との
懇談会に参加しました。障害のある人、
その家族、作業所職員の間で様々な生
で話し、決して他人ごとではないと感じ
させられました。今年度から始まった第
5次将来計画も、だれもが分け隔てなく
笑顔で語らせるように討議を重ねられ
ています。討議が興味がならないよう、
懇談会で見聞できたことを忘れずに
これからも頑張って
いきたいと

改めて感じました。

(Y. Y)



発行人： 関西障害者定額制行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人： 社会福祉法人 ひかり福祉会 長浜市高島上町 68-1

定 価： 40 円